

「自分の取組を振り返ろう」(取組見直しチェックシート)

支援を必要とする子どもに必要な支援ができるように、日々の取組を見直そう

「関係者間の連携と協働」

- 日頃、他の教員と、子どもの実態や支援についてよく話している。
- 日頃、保護者と、子どもの実態や支援について話す機会を積極的につくっている。
- 自分の指導方法、支援の手だてにこだわり過ぎず、柔軟に考えられる。
- 専門家の助言を、自分の実践に当てはめて考えている。
- 子どもの支援について、専門家と対等な立場で話し合おうとしている。

「問題の意識化・言語化」

- 子どもが困っていることを「～で困っているんだな」と言葉や文章にしている。
- 個別の支援で学んだ内容を、どの子にも大切と考えている。
- 校内委員会、ケース会議等で、支援方法について積極的に発言している。
- 就学前や小学生（中学生の場合）のときの状況や支援内容を確認している。

「特別な支援の実践」

- 具体的な支援を、日々の授業で日常的に実施している。
- 個別の指導計画に基づいて実践している。

「支援の振り返り」

- 子どもの実態を踏まえ、支援や手だてについて自分なりの仮説をもっている。
- 支援や手だての背景や根拠を言葉や文章にしている。
- 子どもに対する自分の関わりを変える視点をもっている。

